

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.168)

## 1. PCB処理安全監視委員会について

3月19日(月)に、平成29年度第3回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会では、JESCOからは豊田PCB廃棄物処理施設の操業や運転廃棄物の状況等を報告し、処理が順調に進んでいることをご確認いただきました。

また、第一外調機から冷水(エチレングリコール水溶液)が漏れ出し、PCBは不検出だったものの放流水のCODが高くなった対策として、冷水を工業用水に変更し、第一外調機を修理し、水質が改善したことなどを説明し、ご確認いただきました。

豊田市からは豊田PCB廃棄物処理施設への立入検査状況、PCB環境モニタリング調査の結果及び未処理事業者への立入状況等について説明がありました。

愛知県からはPCB廃棄物保管事業者からの届出内容についての説明がありました。

環境省からは、PCB廃棄物の早期処理促進に向けた国の取組として、PCB廃棄物の処分期間内の早期処理に関する周知・広報の取組、平成30年度PCB関連予算及び環境省地方環境事務所と関係者間の連携等について説明がありました。



## 2. 総合防災訓練の実施



地震発生時の被害状況(人命、火災、PCB漏洩等の有無)の把握と同時に、防災対策本部を立ち上げ、各関係機関への通報、漏洩PCBの回収に至るまで含めた総合防災訓練を3月8日(木)に実施しました。

地震発生直後の身の安全を第一に考え、JESCO社員、運転会社、工事業者、見学者全ての人の安全確保を図りました。余震が収まった後に、人員点呼による従業員および事業所入所者の安否確認を実施しました。その後、防災対策本部と現地指揮本部とを立ち上げ、漏洩したPCBの素早い回収、施設内の点検、避難通路の点検・確保を行うなど、防災体制に沿った訓練になりました。

### 3. 豊田PCB処理事業部会について

3月13日(火)に平成29年度第3回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。この部会は、5名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県および豊田市からもオブザーバーとしてご出席いただいています。

当事業所では、PCB廃棄物処理施設を事業終了まで健全に稼働させるための長期保全計画を策定しており、今回の事業部会では、29年度の保全実績と30年度の計画についてご説明し、PCB処理施設の保全が計画通りに実施されていることさらには次年度保全計画の妥当性をご確認いただきました。



また、操業開始から30年1月末までのPCB処理の進捗状況を報告しました。委員の方々から、PCBの処理が計画通り進んでいるとの評価をいただきました。

外気を冷水で冷やして処理棟内に送る装置である第一外調機から冷水(エチレングリコール水溶液)が漏れ出し、当事業所が実施した水質分析結果で放流水のCODが高くなりましたが、PCBは検出されませんでした。

対策として、冷水を工業用水に変更するとともに、第一外調機を修理し、水質も改善したことなどを説明し、ご確認いただきました。

### 4. 施設見学について

平成29年度の施設見学者数

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
団体数	12団体	9団体	9団体	6団体	36団体
見学者数	48名	61名	59名	33名	201名

地元市民の皆様をはじめ、保管事業者、行政の方々や各団体など、多くの方々に当施設をご見学いただき、施設見学を通じてPCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただいております。

施設見学をご希望の方は下記の【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのピーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)  
豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>